



AI技術搭載のMRIを導入しました！

宝塚第一病院では、より安心安全な高度医療を地域の皆さまにお届けできるように、MRI装置の更新を行いました。

新しく導入された装置は、キヤノンメディカルシステムズ社製 Vantage Gracian (バンテージ グレイシアン)です。磁場の強さは更新前の機器と同じ1.5テスラですが、最新のAI応用技術が搭載されており、高速撮影技術と組み合わせることによって、今までは困難であった画像を映し出すことが可能になりました。バランスの良い通常画像に加え、痛みが強い患者さまには短時間で検査できるスピード重視の画像、精細情報が必要な患者さまには高分解能高画質の画像など、幅広いニーズに対応した画像を提供できます。また、頭頸部コイルにチルト機能が追加されたため、円背の患者さまにも比較的楽な体勢で検査を受けていただけます。



撮影室のご紹介

室内の壁と装置は清潔感のある白、床は落ち着きのあるダークブラウンに統一しました。また安心して検査を受けていただけるよう、LED化された間接照明を採用しました。MRI更衣室も色合いを統一し、より快適にお使いいただけるようになりました。



工事について



前回のMRI更新は2009年に行われ、15年ぶりの大規模工事になりました。放射線科の機器更新としては、MRIの更新工事は最も工期が長く、今回も約1か月間を要しました。



2階機械室の機器搬出搬入や冷却水循環装置の運搬には大型クレーン車による吊り下げ作業が行われ、非常階段横には大きな足場も設置されました。



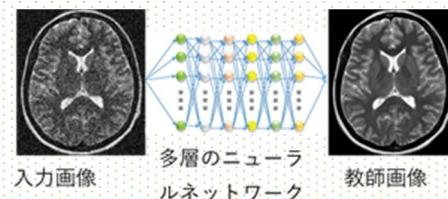
MRIは繊細な装置で、設置する部屋の磁場状態や装置の傾き、装置自体の磁場均一性の調整に1mm単位での作業が行われました。



装置の特徴

①AI応用技術

この装置には、AI技術のAdvanced intelligent Clear-IQ Engine(AiCE)とDeep Learning Reconstruction(DLR)を活用した画質向上機能が搭載されています。一般的に、AIといえばChatGPT(AI技術を活用した対話型サービス)が有名ですが、当院の装置にはChatGPTは搭載されておらず、またインターネットにも接続されていません。DLR原理は撮影した画像を装置内演算でノイズを少なくする技術で、低画質の入力画像と高画質の教師画像から畳み込みニューラルネットワークを構築し、これをほかの画像に適用することでノイズの少ない画像を得ることができます。(キヤノンメディカルシステムズセミナーレポート抜粋改変)



②高速撮影技術

Compressed Speederによる撮影時間短縮が可能です。

放射線科技師長 上田

整形外科 専門外来のご案内

通常外来に加え、以下の専門外来も開設しております。外来予定表をご参照ください。
予約制ではございませんので、気になる方はぜひ専門医師の外来にご来院ください。

関節疾患・人工関節外来

(山元輝明医師、木村豪太医師)

関節は使い減りします。特に日常から体重のかかる膝や股の関節は、生活習慣や加齢によって変形しやすく、痛みや曲げ伸ばしの制限が出やすい部分です。高齢になると筋力の衰えなどもあり、関節の障害は転倒にも繋がりがちです。現代の医学では、それらの関節疾患に対する解決方法がいくつも存在するので、一度外来にてご相談ください。楽しく活動的に生活していくため、関節の痛み等があれば放置せず、是非当院にご来院下さい。一緒に治療方法を考えていきたいと思います。



脊椎疾患・脊椎外来

(那須輝医師、那須文章医師、山岡昌平医師、中野恵介医師)

職業柄、無理な姿勢を取っていたり、加齢に伴う変化により、腰椎椎間板ヘルニアや腰部脊柱管狭窄症、後縦靱帯骨化症など背骨を中心とする痺れや痛みなどが現れる場合があります。特に手足の痺れを感じる際は、脊椎に原因がある可能性があるため、お早めに専門医を受診してください。当院では、那須輝医師、那須文章医師、山岡昌平医師、中野恵介医師が得意としており、薬物療法、ブロック注射、そして手術を実施しています。



医師着任のお知らせ



整形外科部長
やまもと てるあき
山元 輝明

4月より整形外科に着任いたしました山元輝明です。京都大学卒業後は同整形外科教室に入局し、倉敷中央病院などでは主に急性期手術治療を担当し、十条武田リハビリテーション病院では院内の回復期リハビリ病棟等とも相談しながら包括的な診療に携わって参りました。私自身は人工関節を含めた股関節関連および一般外傷の手術を中心にやってまいりましたが、当院には整形外科各分野の専門医師が多く在籍しており、骨粗鬆等の全身的要因を含め、関連しあう疾患の治療に必要な連携をとりやすい環境だと感じています。地域の皆さまに安心して訪れていただける宝塚第一病院整形外科の一員として、これまでの経験を活かし精一杯頑張りますので、どうぞよろしくお願い申し上げます。



眼科副部長
おくだ てつひこ
奥田 徹彦

4月より眼科に着任しました奥田徹彦と申します。1996年に金沢大学を卒業し、同大学眼科に入局した後は関連病院で研鑽を積んでまいりました。2003年より同大学病院に戻り、網膜硝子体手術を専門として、今年の3月まで増殖糖尿病網膜症、眼外傷、難治性網膜剥離など数々の難治性網膜疾患に対する硝子体手術に積極的に取り組んで参りました。また白内障に関しても普通の白内障手術はもちろんのこと、水晶体の支えが弱くなっているなど難症白内障手術についても数多く執刀してきております。当院の眼科は地域に密着し、皆さまに安心して通っていただける診療科であります。これまでの経験を活かし、宝塚地域の患者さまにできる限りの貢献をしたいと思っておりますので、皆さまどうぞよろしくお願いいたします。



脳神経外科医師
おかだ たかし
岡田 崇志

4月1日より赴任しました、脳神経外科の岡田崇志です。2019年、宝塚第一病院は日本脳卒中学会における一次脳卒中センターに認定されましたので、今後も脳卒中診療をますます充実させて参ります。また、脳腫瘍やその他の脳外科疾患についても、大学病院等との連携を常に行っておりますので、初期診断や大病院での手術後の経過観察等は当院外来でもおおよそのことが可能です。宝塚近辺の地域の皆様が通いやすい病院として、脳神経外科もその努めを果たしてまいりたいと思います。どうぞよろしくお願いいたします。

令和6年度
入社式を
実施しました！

2024.4.1

